# NEWS LETTER vol. 26

政策研究

報告

## 京都府との協働研究が始まっています

KPIでは、毎年京都府の重点課題について京都府との協働研究を実施しています。今年度は以下の３つのテーマについて調査研究を進めています。

### (1)「子どもの貧困対策の推進に係る調査研究」

平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことから、京都府は昨年3月に「京都府子どもの貧困対策推進計画」を策定し、関係部局による推進プロジェクトを設置し、施策推進を行っています。しかし、子どもの貧困の実態は見えにくく、十分な把握が困難なため、重点施策の柱の1つとして「実態把握の調査研究」を行い、子どもが置かれている貧困の実状(生活や学力等)を把握するため、支援者へのヒアリングを行っています。

**研究体制:**　小沢(公共政策学部教授)、長谷川(同准教授)、勝山(同准教授)、京都府健康福祉部家庭支援課担当者、公共政策学研究科大学院生、鈴木(上席研究員)

### (2)「子育てピアサポーターの活用について」

京都府では、妊娠や出産に関する不安や負担感を軽減するため、妊娠から子育てまでの総合相談・支援の拠点づくりを府内市町村と連携して進めるとともに、地域で子育てに関わる人材が身近な子育て支援の場で活躍できるよう、地域で子育て支援を行っているNPO・団体等との協働を推進するため活動内容や連携状況を把握し府内における支援体制づくりを検討します。

**研究体制:**　杉岡(公共政策学部講師)、勝山(同准教授)、小沢(同教授)、服部(同准教授)、京都府健康福祉部子育て政策課担当者、鈴木(上席研究員)

### (3)「文化資源の効果的活用・発信による広域文化観光モデルの形成について」

文化庁では、京都への全面的移転が決定したことを受け、今後の文化振興策の1つとして、関西の文化資源の魅力を有機的・一体的にとらえて効果的に活用・発信し、広域文化観光モデル事例を形成する取組が検討されています。京都府では、文化庁の京都移転が日本全体の文化振興に貢献することが求められており、効果的な施策・立案に向けて調査・研究を行っています。

**研究体制:**　青山(センター長)、杉岡(公共政策学部講師)、小沢(同教授)、勝山(同准教授)、横内(文学部准教授)、東(同准教授)、京都府政策企画部文化庁移転準備室担当者、河西(主任研究員)、長谷川（研究員）

**＊調査結果は報告書に取りまとめ、HP等で公開する予定です。**

報告

## 伊根町の地域活性化プロジェクトに取り組みます

京都府公立大学法人 平成28年度地域関連課題等研究支援費の採択を受け、研究テーマ「若者パワーを活用した”地域まるごとブランド戦略”による地域活性化–京都府伊根町における若者100人会議を軸とした戦略づくり–」に取りくんでいます。研究体制は、KPIのメンバーおよび本学大学院公共政策学研究科の授業「キャップストーン」で進める地域協働によるオープンワークショップに参加するメンバーを中心にしています。若者100人会議の開催に向け、8月には伊根町に訪問し伊根町職員との意見交換や事業者へのヒアリング調査を行いました。

（上）伊根浦の舟屋群
（下）伊根町唯一の酒蔵である向井酒造株式会社の杜氏の向井さんへのヒアリング

### 連続自治体特別企画セミナー
（KPIセミナー）
### 年間計画

第２回　９月１６日（金）
第３回１０月１３日（木）

今年度も原則木曜日開催、時間帯は15:00～17:15で予定しております。
詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご案内いたします。

### 後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。
ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
Tel & Fax : 075-703-5319
mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

## 包括連携協定を結ぶ自治体を訪問しました

報告

小沢副学長（本学地域連携センター長）、青山センター長及び研究員2名が、本学と連携協力に係る包括協定を締結する京都府内の８市町を訪問しました。

訪問先：
８月１日(月)　京丹後市(H28)、宮津市(H18)、舞鶴市(H25)
８月８日(月)　長岡京市(H21)、宇治田原町(H20)
８月19日(金)　久御山町(H27)、精華町(H25)、南丹市(H26)

※カッコ内は包括連携協定締結年度

意見交換者：
首長 5名、副市長1名・副町長1名

訪問した自治体からは、本学の地域貢献型特別研究（ACTR）や本学教員の地域貢献活動に対する高い評価が寄せられました。また今後の連携のあり方や本センターへの要望として、「件数ではなく、よりよい研究や成果を出せる連携を希望したい」「短期的な成果ではなく長期的な視点に立ち、調査手法も含めて一緒に考えていきたい」「地域住民間の合意形成を進める上でのアドバイスを頂きたい」「他の自治体の大学との連携事例が知りたい」等があり、連携の質の向上や具体的な進め方に対する関心の高まりが窺えます。

こうした意見を踏まえ、本センターでは大学内の推進体制の整備を図りつつ、大学発のシンクタンクとして、地域ニーズを掘り起こし課題解決に至る「寄り添い型」研究所の機能の拡充を目指して参ります。（上席研究員　鈴木暁子）

## KPIの活動報告

報告

・7/21(木)　第15回クリエイティブcafe 「文化庁移転とこれからの文化政策」(共催)
・7/28(木)　平成28年度 企画会議の開催
・7/28(木)　第2回下鴨サロン「熊本の地震現場から感じたこと」四方 浩氏（京都府府民生活部原子力防災課）

政策研究活動

・ACTR(地域貢献型特別研究)では、次の2テーマについて現地訪問しヒアリング調査を進めています。

(1)「舞鶴市での資源ごみのより効率的で効果的な収集・処理施策の検討」（舞鶴市）
研究代表者：勝山 享 公共政策学部准教授

(2)「旧山田家住宅と巨椋池を中心とする久御山町の地域資源の利活用に資する資料・情報を社会教育の観点から収集・分析」（久御山町）　研究代表者：田所 祐史 公共政策学部准教授

## 今後の予定

お知らせ

・第２回KPIセミナー「地域創生と住民主体のまちづくり～小規模多機能自治の最前線～」
9月16日（金）15:00～17:30　会場：京都府職員研修・研究支援センター

・第３回KPIセミナー「フューチャーデザインと地域創生（仮）」
10月13日（木）15:00～17:15　会場：京都府職員研修・研究支援センター

・平成28年度地方創生実践塾 in 京都府綾部市（共催）
「地域資源を最大限生かした企業・NPO・市民・行政協働のまちづくり」
11月23日（水・祝）～25日（金）　場所：京都府綾部市「グンゼ記念館」など
（地方創生実践塾のお問い合わせ・お申込は、地域活性化センターホームページをご覧ください。）

＊詳細・お申込はKPIのホームページ・Facebookをご覧ください。

## KPIリレーコラム

### 「ご挨拶と御礼」

企画調整マネージャー
公共政策学部公共政策学科 講師
杉岡　秀紀

「自ら機会をつくり、自らを変えよ」。これは某企業の社是ですが、まさにこのスローガンを実践させてくれたのがKPIでした。

私が府大に着任したのが2012年。それから約５年、KPIの企画調整マネージャーという大役を仰せつかり、その名の通り、これでもか！というくらい多くの「企画」「調整」「マネジメント」に携わらせて頂きました。たとえば、このニュースレター然り、KPIのロゴ作成やブックレット然り、その他facebookやメルマガ、パンフレットのリニューアル、下鴨サロンの運営方法に他団体との連携案件に至るまで、とにかくここで提案したことはほぼ「100パーセント」実現させて頂けました。組織は往々にして「総論賛成、各論反対」「Yes, but～」になりがちですよね。しかし、KPIに関してはむしろその逆で、とにかく「総論賛成、各論賛成」「Yes,and～」「やってみなはれ」の組織で、これほどやりがいがある組織はそうないと思います。まさにホワイトシンクタンクと言って良いでしょう（笑）。

という訳で、熱意溢れるメンバーに囲まれ、心地の良い空間を去るのは後ろ髪が引かれるのですが、この度新しくできた福知山公立大学に本務校が移ることになり、私は第一線を退かせて頂くことになりました。

この場をお借りしまして、これまでKPIの事業を通してお世話になった皆さまのご厚情やご協力に心から感謝申し上げますとともに、これからの新生KPIのご健勝とさらなる発展を祈念しております。ありがとうございました！
（これからはリサーチフェローとして、ゆるく関わらせて頂きます）